

平成30年度県アレルギー疾患対策事業
 県民情報提供及び人材育成に係る研修会等 (変更後)

1 アレルギー疾患県民情報提供事業

研修名等	日時	会場	備考
アレルギー疾患 講演会	12月8日(土) 14:00~16:00	川越クリニック 6階大講堂	埼玉医科大学病院 市民公開講座との 共催

2 アレルギー疾患対策人材育成事業

(1) 医師等医療従事者向け研修会 (2回)

研修名等	日時	会場	備考
アレルギー フォーラム	11月8日(木) 17:45~19:00	埼玉医科大学 第3講堂	埼玉医科大学病院 アレルギーセンター との共催
アレルギー フォーラム	2月28日(木) 17:50~19:00	埼玉医科大学 第4講堂	埼玉医科大学病院 アレルギーセンター との共催

(2) 保健、福祉、教育担当者向け研修会 (3回)

研修名等	日時	会場
保健センター等行政担当者 研修会	10月29日(月) 14:00~16:30	埼玉県教育会館
保育所、幼稚園等の教職員 研修会	平成31年 2月4日(月) 14:15~16:30	大宮ソニックシティ
<u>放課後児童クラブ等の担当 職員研修会</u>	平成31年 3月9日(土) 14:15~16:30	埼玉県県民健康セン ター

(参考)

◆衛生研究所主催講演会 (一般県民向け)

研修名等	日時	会場	備考
ダニアレルギー対策 講演会	12月1日(土) 14:00~16:00	埼玉県県民健康 センター	メディカルラボ・コミ ュニケーション事業の 一部として実施

行政担当者研修会の概要と実施結果

【研修の概要】	
日 時	平成30年10月29日（月）午後2時から4時30分
会 場	埼玉教育会館
内 容	①講演 <div style="padding-left: 20px;">「赤ちゃんのアレルギー疾患」 ～アトピー性皮膚炎のスキンケアと食物アレルギー～ 講師 埼玉医科大学医学部教授 小児科 徳山 研一先生</div> ②講義及び実技 <div style="padding-left: 20px;">「アトピー性皮膚炎、スキンケアの実際」 ～アワアワピカピカで目指せ！ツルツル！～ 講師 埼玉医科大学病院 看護師・小児アレルギーエドゥケーター 大塚 砂織 氏</div>

＜アンケート結果＞

参加者 市町村：55人 保健所：2人 計 57人
 （アンケート回答者55人）

Q 1 回答者の職種

保健師	41
看護師	1
栄養士・管理栄養士	13
計	55

単位：人

Q 2 研修会への感想

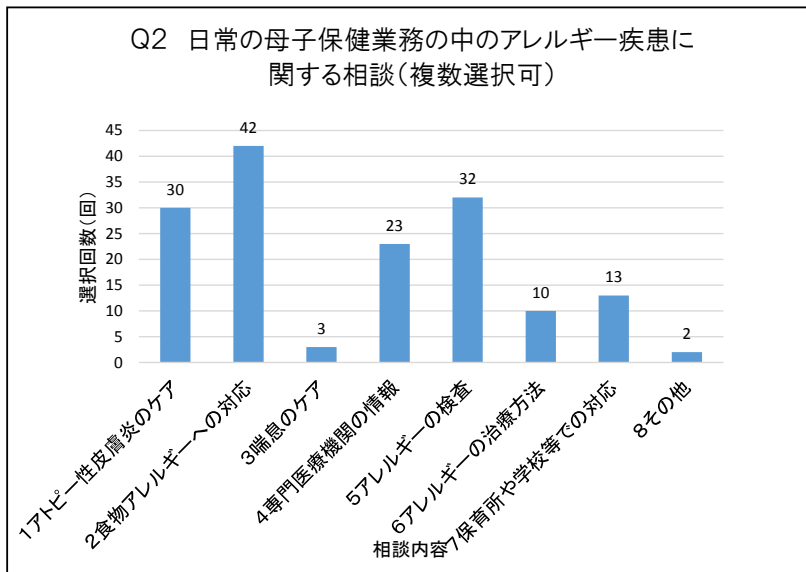
大変参考になった	48
参考になった	7
参考にならなかった	0
計	55

単位：人

Q 3 日常の母子保健業務の中でアレルギー疾患に関してどのような相談が多いか？（複数選択）

1. アトピー性皮膚炎のケアについて	30
2. 食物アレルギーへの対応について	42
3. 喘息のケアについて	3
4. 専門医療機関の情報について	23
5. アレルギーの検査について	32
6. アレルギーの治療方法について	10
7. 保育所や幼稚園、学校等での対応について	13
8. その他	2

単位：人



Q 4 日常の相談業務以外に取り組んでいる事業があるか？(複数回答)

1. 保護者に向けた講習会等	4
2. 一般市民に向けた講演会等	1
3. アレルギーのある子どもの保護者の情報交換会	1
4. パンフレットやチラシなどの啓発資材の作成、配布	11
5. その他	1

単位：人

◆ 研修の感想(Q1)自由記載 (主なものを抜粋)

- ・ 検診・相談の場ですぐに活用できる知識・技術のお話で大変参考になりました。
- ・ 実技をまじえた研修会だったので、とても分かりやすく、お母さんたちへ伝える際にも迷わずに伝えられると思いました。
- ・ 新生児訪問のときスキンケアについての相談が多く、今日学んだことを次回からママ達に伝えることが出来るので参考になりました。
- ・ ”目の周囲にぬっても垂れない泡の硬さ”を実践し、納得できたので、自信を持って指導できそうです。
- ・ 実際に汚れの浮き上がりが体験できて感動しました。
- ・ 泡を立てる方法や洗剤のタイプなどその方の使っているもの、やりやすいものを選択していくことが必要だと思いました。
- ・ 最近の食物アレルギーのキーワード「経皮感作」「経口免疫寛容」について知ることができてよかったです。

◆日常の母子保健業務の中で受けることの多い相談内容（Q3） 自由記載
（主なものを抜粋）

1 アトピー性皮膚炎のケアについて

- ・薬を塗っていったんよくなるけど、良くなったり悪くなったりをくり返している
- ・薬（処方されたもの）を塗布しても改善しない
- ・ぬり薬の使い方、量、スキンケアについて

2 食物アレルギーへの対応について

- ・いつから卵などのアレルギーの出やすい食品を与えるべきか。
- ・血液検査で(+)となったが、いつから食べてよいか。
- ・いつまで食べないほうが良いか。与え方。
- ・何歳から血液検査できるか。
- ・特定の食物摂取後に体に発疹でた、食べさせるのをやめた。どうしたら良いか。
- ・保育所、幼稚園での対応。

3 喘息ケアについて

- ・部屋の湿度について

4 専門医療機関の情報について。

- ・近所に病院がないこと。どこに行けばよいか
- ・アレルギー専門医はどこにいるか
- ・アレルギーに関する問い合わせをしたらよいか

5 アレルギーの検査について

- ・親がアレルギーだが、検査した方がよいのか、食べない方がよいのか
- ・血液検査はいつごろするのが良いのか
- ・離乳食開始前にアレルギーの検査をした方がよいのか
- ・（負荷試験は）1才すぎないと検査できないと言われるが、どうしたらよいか

6 アレルギーの治療方法について

- ・ステロイドを使いたくないがどうしたらよいか

7 保育所や幼稚園、学校等での対応について

- ・お弁当、給食について、除去食があると他の子と同じものが食べられない
- ・エピペンの使い方